天真寺門信徒会だより

2009
H21
1 月
Vol.382

●今月の法語カレンダー●

光明てらして ほがらかに
いたらぬところは さらになし

一々のはなのなかよりは
三十六百千億の
光明てらしてほがらかに
いたらぬところはさらになし

今月は親鸞聖人の著された『浄土和讃』からの法語です。浄土に咲く蓮華には百千億の花びらがあり、その花びらに青・白・黒・黄・朱・紫の六光があって相互に照らし合うさまが詠われます。阿弥陀さまのお救いにいたらぬところのないことが示されるお言葉は、私たちが尊いいのちを輝かせ合って生きる道も教えて下さっています。

平成21年1月の行事

●元旦会 1日（木）
初参りはお寺でしましょう

●朝の日曜礼拝 午前7時
お参り・御文章・7分法話
4／11／18／25日
●仏教講座会
20日（火）午後1時半
●写経会
20日（火）午前11時
●納骨堂合同参拝
10日（土）午前10時
※今月は第二土曜日です
●れんげ会（仏教婦人）
「新年会」
9日（金）午前11時
●壮年会
24日（土）午後3時
●ボラン寺（寺報発送作業）
30日（金）午前9時
●雅楽教室
25日（日）午後3時
●ヨーガ教室 午後12時半
14／21日（水）

2月の行事

○仏教講座会 20日（金）
○写経会 20日（金）
○納骨堂合同参拝 7日（土）
○れんげ会 10日（火）
○壮年会 28日（土）
○ボラン寺 27日（金）
○雅楽教室 15日（日）
○ヨーガ 4／25日（水）

行事はすべて参加自由です
どうぞお参りください

光壽無量

あけまして
おめでとうございます

新しい年を迎えるにあたり、心も新たに、門信徒の皆さまとともに元旦のお参りを致しましょう。

本当の教えに出遇うことは「生きる」ことから、「生かされる」ことへの大転換です。亡き方々のお導きをいただき、今年もみ教えを聞くご縁を広げていただきたく念じ上げます。

「元旦会」はすがすがしくも厳粛な法要となります。元旦ははぜひご家族揃って、お寺へお参り下さい。

「元旦会」次第
「讃仏偈」おつとめ
「御文章」「元旦章」拝読
流盃の儀
別室にて
お祝い膳

合掌

ご門主さまのご法話

（前略）

近年、「癒す」とか「癒し」という言葉を耳にいたします。仏教にも疲れた心を癒すはたらきがないわけではありませんが、事の本体を確かめることなく、表面だけを癒すとか、自分だけ納得するということでは、仏教的なめざめや救いとはなりません。生死の迷いとは、日常生活の課題ではなくて、その基盤が揺らぐこと、現実の対処方法だけでは本当の解決にならない事柄です。

例を挙げますと、健康な人も、そうではない人も、等しくこの世を去らねばならないということがあります。健康法や健康食品では解決しない事柄です。そこを解決すると、私が生きていることの意義が納得され、人間同士、さらに動物、植物に通じるいのちへの共感が広がっていきます。

罪障と功徳は氷と水の如く

阿弥陀如来の救いのはたらきが南無阿弥陀仏となって、私を喚び、支えてくださることを聞くことは、誰も逃れられない死を抱えている私、他のいのちを犠牲にしたり、踏み台にして生きている私を心配し、見捨ててはおけないという阿弥陀如来さまのお慈悲に遇うことです。

阿弥陀如来の救いに遇うことと、私が救われ難い煩悩に満ちた人間であることを知らされることを、切り離すことはできません。他力の信心とは、自分がこちら側にいて、阿弥陀さまを向こう側に置き、お救いを期待することではありません。阿弥陀如来の救いが南無阿弥陀仏となって、私の心に、口に、はたらいていてくださるのですから。

「罪障功徳の体となる　こほりとみづのごとくにて　こほりおほきにみづおほし　さはりおほきに徳おほし」と親鸞聖人はご和讃に記されました。仏法を聴くこと、聴聞することを通じて、仕事の上の、あるいは私生活で生まれる喜びや悲しみは、この世を超えた広い世界に気付く大切なご縁であった、有り難いご縁であったと知らされます。

受け継ぎたい家庭の報恩講

浄土真宗の伝統には、お寺での報恩講法要だけでなく、ご門徒の家庭での報恩講や在家法座があります。今日、お正月のおせち料理などの習慣も受け継がれにくくなっていると聞きますから、ご家庭での報恩講や法座は、一層難しくなっているかと思いますが、今、言葉通り、報恩の気持ちがわかなくても、各自、わが人生を顧みる機会として、先人が伝えてくださった仏法から何かのヒントを得る機会としてでも、ぜひ受け継いでいただきたいものです。

さまざまのご縁に育てられて、私が「他力本願のことわりをねんごろにききひらき、専修一向の念仏の行者に」なることこそ、報恩講の要であると聞かせていただくことであります。

（H20年「ご正忌報恩講」）

天真寺の墓地
「大町やすらぎパーク」
北総線「大町」駅から徒歩3分の好立地です。
ご希望の方はお寺までご相談下さい。
現在「永代合葬墓」を計画中です。

ご正忌報恩講

ご本山にお参り下さい

京都の西本願寺では、1月9日～16日、親鸞聖人のご祥月命日をご縁に、「ご正忌報恩講」が一週間にわたり営まれます。聖人のご遺徳を偲ぶとともに浄土真宗の信者としての自覚を新たにお参りしましょう。

今年もどうぞよろしくお願い申し上げます

■住職　西原恵照

新たな年の始まりであります。源信和尚は浄土真実のみ教えを「濁世末代の目足」とお示しになりました。激動する世にあって、み教えを心中に蓄え、皆さまと共に歩んでいきたいと思っております。

人はみな
苦悩にあいて育てられ
信によりてぞ
苦楽を超える　恵照

■副住職　西原龍哉

元日や　今日のいのちに
遇う不思議（木村無相）

つい当たり前に過ごしてしまう毎日。だからこそ、つねにこの言葉を思いながら、感謝のこころを大切にしていきたいです。

■衆徒　山口典証

「み仏の光りをあおぎ 常に我が身をかえりみて 感謝のうちに励みます」
新年おめでとうございます。浄土真宗の生活信条を頂いて精進し皆さまとともに歩ませていただきます。どうぞよろしくお願いします。

■衆徒　西原静香

「築地本願寺新報」の編集委員と、「仏教情報センター」でのお仕事をさせていただいています。お念仏とともに、心豊かに一年を過ごしたく願っております。

■衆徒　西原大悟

初めまして、次男の大悟です。多くのご縁により、昨春から京都にある中央仏教学院に入学させていただき、仏さまのみ教えを学んでおります。どうぞよろしく！

■坊守　西原悦子

南無阿弥陀仏とお称えする生活のなかで、私たちは大きな安心につつまれ、阿弥陀さまといつも一緒です。今年もよろしくお願いいたします。

■前坊守　西原敏子

大いなるいのちに生かされしこの命、感謝の心で今年も精一杯暮らしたいと思います。

平成二十一年度「年回表」

一周忌　平成20年（2008）
三回忌　平成19年（2007）
七回忌　平成15年（2003）
十三回忌　平成9年（1997）
十七回忌　平成5年（1993）
二十五回忌　昭和60年（1985）
三十三回忌　昭和52年（1977）
五十回忌　昭和35年（1960）
百回忌　明治43年（1910）

ご法要の相談は、早めにお願いいたします。日の善悪ではなく、ご家族そろってお参りできる日をお選び下さい。

れんげ会（仏教婦人）「新年会」のお誘い

一年の始まりにあたり、仏さまのご縁に感謝をして、楽しくひとときを過ごしましょう。門信徒のご婦人なら、どなたでもご自由に参加いただけます。
お友達を作って、お寺参りを楽しくいたしましょう。皆さま、大歓迎です♪

【日時】1月9日（金）午前11時より
お参り・法話・昼食会・ビンゴゲーム・茶話会

活動報告

★お釈迦さまがお悟りをひらかれた日を記念して、築地本願寺で開かれた布教大会に、皆さんとお参りしてきました。

また「コーラスのつどい」では200名の大合唱を前に、門信徒の竹内恵里さん（常盤平）がピアノ伴奏を担当して下さいました。おかげで、とても感動的なご法縁となりました。

★今年最後の「仏教講座会」では、皆勤賞4名・精勤賞9名の表彰式がありました。毎月のお聴聞を大切にして下さったことを、大変有り難く思います。どうぞ今年もお参り下さいね。

法要後には、「門信徒忘年会」も行われ、皆さんと楽しく過ごすことができました。また一年よろしくお願いいたします。

【皆勤賞】
石川千代子さん・河野悦子さん・木内元恵さん・山口玲子さん

【精勤賞】
上村三代子さん・大枝義一さん・小林繁夫さん・鈴木いとるさん・冨永みつるさん・林由美子さん・松井悦子さん・山崎静子さん・吉田志づ子さん
（五十音順）

天ちゃんの一言

「法語カレンダー」はお手元に届きましたか。ぜひお仏壇の近くにかけて、お使い下さい。

今年は3年ぶりとなる門信徒会の旅行が6月に計画されています。福島方面へ行く予定をしておりますので、ぜひ皆さんご参加下さい。詳細が決まり次第、また寺報でお知らせします。

門信徒会入会のご案内

どなたでも入会いただけます。毎月、寺報と仏教冊子をお送りします。年会費3千円。「寺友」の輪を広げませんか。

（発行元）
浄土真宗本願寺派　天真寺
千葉県松戸市金ヶ作106
047―389―0808
【ホームページ】
http:www.tenshi.or.jp/